

# 中空知の景気動向 (令和4年10~12月期)

調査企業 126社  
回答企業 122社  
回答率 96.8%

## 業況は小幅に改善、1~3月期は悪化を予想

### 今期の実績 (4年10~12月期)

業況判断DIは▲17となり、前期比9ポイント改善、前年同期比では5ポイント改善した。  
売上額判断DIは0となり、前期比11ポイント悪化、収益判断DIは▲23となり、前期比18ポイント悪化した。  
また販売価格判断DIは29となり、前期比2ポイント上昇、仕入価格判断DIは66となり、前期比3ポイント下降した。  
業種別では、建設業で悪化、卸売業で横這いの他は5業種で改善となった。

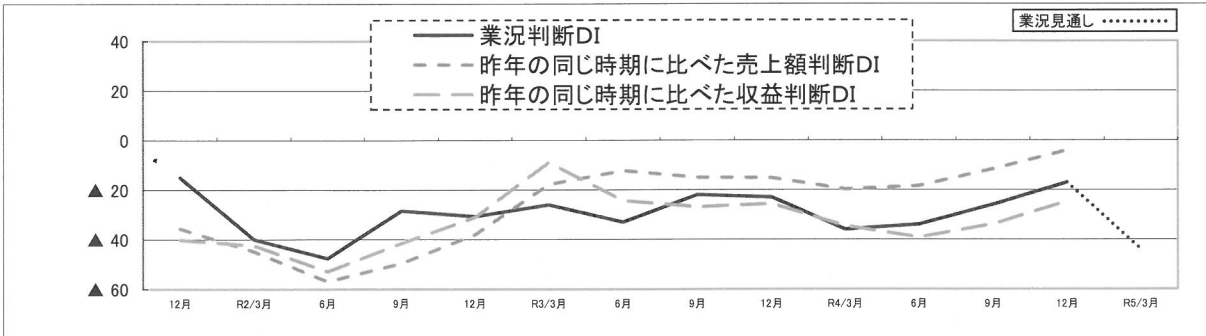
### 来期の見通し (5年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲44となり、今期実績比27ポイント悪化する見通し。  
売上額判断見通しDIは▲28となり、今期実績比28ポイント悪化、収益判断見通しDIについては▲33となり、今期実績比10ポイント悪化する予想。  
また販売価格判断見通しDIは19となり、今期実績比10ポイント下降、仕入価格判断見通しDIは55となり、今期実績比11ポイント下降する予想。  
業種別では、不動産業で横這いの他は6業種で悪化する見込み。

### DI値

	R3/10~12月	R4/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			R5/1~3月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲22	▲36	▲34	▲26	▲17	9	5	▲44	▲27
売上額	▲2	▲32	▲16	11	0	▲11	2	▲28	▲28
収益	▲13	▲37	▲36	▲5	▲23	▲18	▲10	▲33	▲10
販売価格	17	14	30	27	29	2	12	19	▲10
仕入価格	56	65	72	69	66	▲3	10	55	▲11
在庫	▲1	▲3	▲2	1	1	0	2	▲1	▲2
資金繰り	▲10	▲12	▲8	0	▲11	▲11	▲1	▲14	▲3
残業時間	▲4	▲12	▲8	3	▲2	▲5	2	▲8	▲6
人手	▲43	▲31	▲44	▲46	▲50	▲4	▲7	▲40	10
現在設備	▲12	▲13	▲13	▲12	▲16	▲4	▲4	▲14	2

### 業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



### 設備投資動向

※複数回答(不動産業除く)

#### 設備投資実績内訳(4年10~12月)

事業用土地・建物	2件
機械設備の新・増設	6件
機械・設備の更改	11件
事務機器	6件
車両	11件
その他	4件

#### 設備投資計画内訳(5年1~3月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	8件
機械・設備の更改	11件
事務機器	8件
車両	14件
その他	2件

今期(4年10~12月)は、30社(25.2%)が設備投資を実施しており、前年同期を14社下回りました。  
来期(5年1~3月)に設備投資を計画している企業は30社(25.2%)となっています。

### 経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

#### 経営上の問題点

1位	売上の停滞・減少	55社
1位	人手不足	55社
3位	原材料高・材料価格の上昇	44社

#### 当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	66社
2位	人材を確保する	60社
3位	技術力を高める	27社

# 建設業

(令和4年10~12月期)

調査企業 38社  
回答企業 38社  
回答率 100.0%

## 業況は小幅に悪化、1~3月期も悪化を予想

### 今期の実績 (4年10~12月期)

業況判断DIは▲21となり、前期比5ポイント悪化、前年同期比では24ポイント悪化した。  
売上額判断DIは8となり、前期比16ポイント悪化、収益判断DIは▲26となり、前期比34ポイント悪化した。  
また請負価格判断DIは8となり、前期比16ポイント下降、材料価格判断DIは74となり、前期比7ポイント下降した。

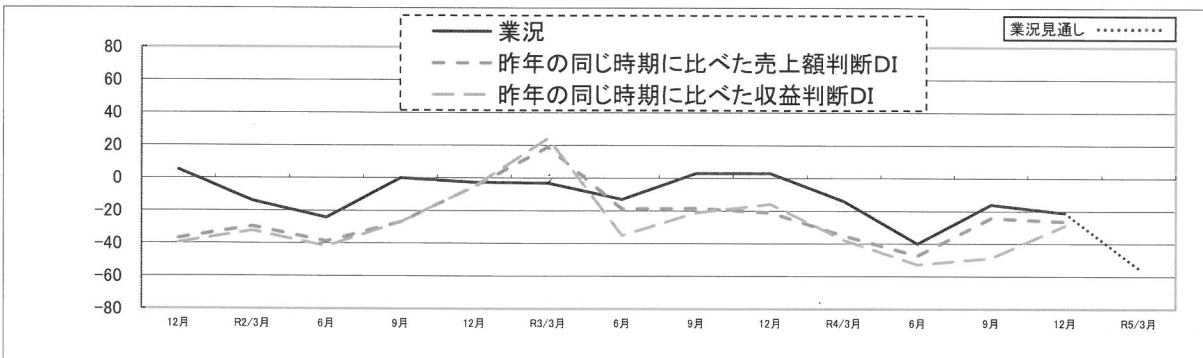
### 来期の見通し (5年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲55となり、今期実績比34ポイント悪化する見通し。  
売上額判断見通しDIは▲35となり、今期実績比43ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲30となり、今期実績比4ポイント悪化する予想。  
また請負価格判断見通しDIは11となり、今期実績比3ポイント上昇、材料価格判断見通しDIは57となり、今期実績比17ポイント下降する見込み。

### DI値

	R3/10~12月	R4/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		R5/1~3月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	3	▲14	▲40	▲16	▲21	▲5	▲24	▲55	▲34
売上額	13	▲27	▲32	24	8	▲16	▲5	▲35	▲43
受注残	▲13	▲50	▲19	11	▲19	▲30	▲6	▲39	▲20
施工高	16	▲30	▲24	3	▲8	▲11	▲24	▲32	▲24
収益	▲3	▲24	▲50	8	▲26	▲34	▲23	▲30	▲4
請負価格	16	0	11	24	8	▲16	▲8	11	3
材料価格	61	76	84	81	74	▲7	13	57	▲17
在庫	0	▲3	▲5	3	3	0	3	6	3
資金繰り	3	8	11	8	▲3	▲11	▲6	▲11	▲8
残業時間	▲5	▲19	▲21	0	▲3	▲3	2	▲30	▲27
人手	▲63	▲27	▲47	▲62	▲55	7	8	▲35	20
現在設備	▲3	0	▲3	▲3	▲3	0	0	0	3

### 業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



### 設備投資動向 ※複数回答

#### 設備投資実績内訳(4年10~12月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	2件
機械・設備の更改	3件
事務機器	2件
車両	3件
その他	1件

#### 設備投資計画内訳(5年1~3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	3件
機械・設備の更改	3件
事務機器	3件
車両	3件
その他	0件

今期(4年10~12月)は、9社(23.7%)が設備投資を実施しており、前年同期を7社下回りました。  
来期(5年1~3月)に設備投資を計画している企業は9社(23.7%)となっています。

### 経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位) ※複数回答

#### 経営上の問題点

1位	原材料高・材料価格の上昇	23社
1位	人手不足	23社
3位	売上の停滞・減少	16社

#### 当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	27社
2位	技術力を高める	20社
3位	経費を節減する	15社

# 小売業

(令和4年10~12月期)

調査企業 32社  
回答企業 31社  
回答率 96.9%

## 業況は小幅に改善、1~3月期は悪化を予想

### 今期の実績 (4年10~12月期)

業況判断DIは▲47となり、前期比3ポイント改善、前年同期比では16ポイント改善した。  
売上額判断DIは▲6となり、前期比横這い、収益判断DIは▲29となり、前期比2ポイント改善した。  
また販売価格判断DIは48となり、前期比7ポイント上昇、仕入価格判断DIは71となり、前期比5ポイント上昇した。

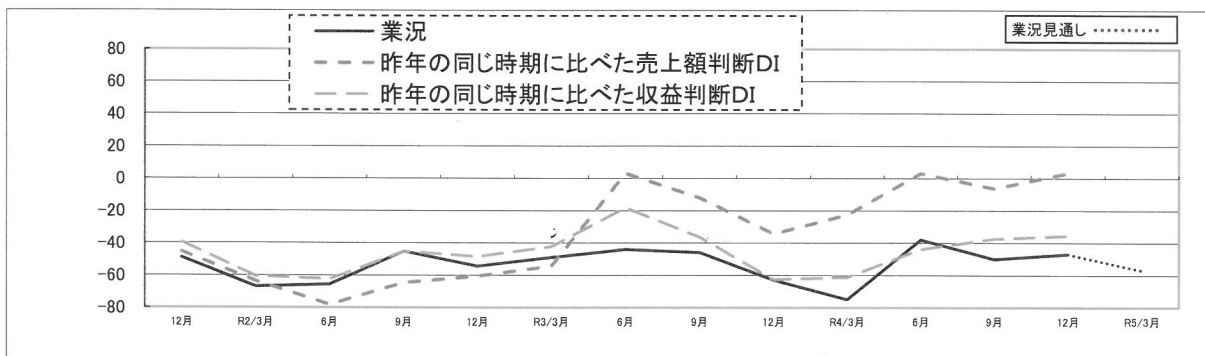
### 来期の見通し (5年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲57となり、今期実績比10ポイント悪化する見通し。  
売上額判断見通しDIは▲16となり、今期実績比10ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲32となり、今期実績比3ポイント悪化する予想。  
また販売価格判断見通しDIは23となり、今期実績比25ポイント下降、仕入価格判断見通しDIは52となり、今期実績比19ポイント下降する見込み。

### DI値

	R3/10~12月	R4/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		R5/1~3月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲63	▲75	▲38	▲50	▲47	3	16	▲57	▲10
売上額	▲41	▲47	▲6	▲6	▲6	0	35	▲16	▲10
収益	▲47	▲59	▲34	▲31	▲29	2	18	▲32	▲3
販売価格	28	25	53	41	48	7	20	23	▲25
仕入価格	66	63	72	66	71	5	5	52	▲19
在庫	▲6	▲9	▲3	0	0	0	6	▲10	▲10
資金繰り	▲19	▲19	▲13	▲3	▲23	▲20	▲4	▲26	▲3
残業時間	0	▲16	0	▲6	▲6	0	▲6	▲7	▲1
人手	▲25	▲28	▲34	▲31	▲32	▲1	▲7	▲26	6
現在設備	▲12	▲16	▲16	▲16	▲10	6	2	▲7	3

### 業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



### 設備投資動向

※複数回答

#### 設備投資実績内訳(4年10~12月)

事業用土地・建物	1件
事務機器	1件
車両	1件
その他	2件

#### 設備投資計画内訳(5年1~3月)

事業用土地・建物	1件
事務機器	0件
車両	0件
その他	2件

今期(4年10~12月)は、4社(12.9%)が設備投資を実施しており、前年同期を6社下回りました。  
来期(5年1~3月)に設備投資を計画している企業は3社(9.7%)となっています。

### 経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

#### 経営上の問題点

1位	売上の停滞・減少	16社
2位	利幅の縮小	14社
3位	仕入先からの値上り要請	13社

#### 当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	19社
2位	人材を確保する	8社
2位	品揃えを充実(改善)する	8社

# サービス業 (令和4年10~12月期)

調査企業 17社  
回答企業 17社  
回答率 100.0%

## 業況は改善、1~3月期は小幅に悪化を予想

### 今期の実績 (4年10~12月期)

業況判断DIは0となり、前期比25ポイント改善、前年同期比では22ポイント改善した。  
売上額判断DIは6となり、前期比7ポイント悪化、収益判断DIは0となり、前期比6ポイント悪化した。  
また料金価格判断DIは41となり、前期比16ポイント上昇、材料価格判断DIは82となり、前期比13ポイント上昇した。

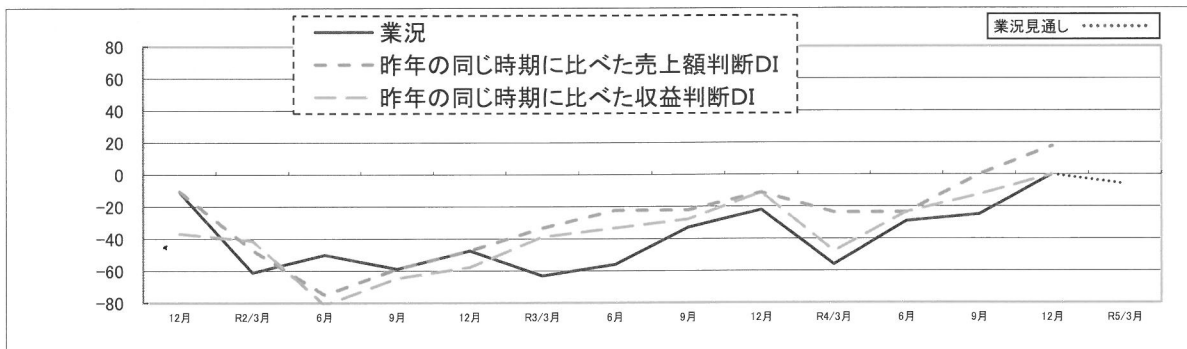
### 来期の見通し (5年1~3月期)

業況判断の見通しDIは▲6となり、今期実績比6ポイント悪化する見通し。  
売上額判断見通しDIは▲30となり、今期実績比36ポイント悪化、収益判断見通しDIは▲24となり、今期実績比24ポイント悪化する予想。  
また料金価格判断見通しDIは35となり、今期実績比6ポイント下降、材料価格判断見通しDIは82となり、今期実績比横這いとなる見込み。

### DI値

	R3/10~12月	R4/1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			R5/1~3月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲22	▲56	▲29	▲25	0	25	22	▲6	▲6
売上額	▲17	▲56	▲29	13	6	▲7	23	▲30	▲36
収益	▲11	▲67	▲29	6	0	▲6	11	▲24	▲24
料金価格	17	11	41	25	41	16	24	35	▲6
材料価格	50	67	82	69	82	13	32	82	0
資金繰り	▲28	▲35	▲24	0	▲12	▲12	16	▲6	6
残業時間	6	▲11	0	13	12	▲1	6	18	6
人手	▲39	▲44	▲53	▲50	▲59	▲9	▲20	▲53	6
現在設備	▲28	▲22	▲12	0	▲18	▲18	10	▲18	0

### 業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



### 設備投資動向 ※複数回答

#### 設備投資実績内訳(4年10~12月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	1件
機械・設備の更改	1件
事務機器	0件
車両	2件
その他	0件

#### 設備投資計画内訳(5年1~3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	2件
機械・設備の更改	1件
事務機器	1件
車両	1件
その他	0件

今期(4年10~12月)は、4社(23.5%)が設備投資を実施しており、前年同期を2社下回りました。  
来期(5年1~3月)に設備投資を計画している企業は4社(23.5%)となっています。

### 経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位) ※複数回答

#### 経営上の問題点

1位	人手不足	12社
2位	売上の停滞・減少	8社
3位	原材料高・材料価格の上昇	6社

#### 当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	11社
1位	人材を確保する	11社
3位	販路を広げる	6社

# 特別調査

## 2023年(令和5年)の経営見通し

### 調査概要

この調査は、中空知管内企業に対して「2023年(令和5年)の経営見通し」をテーマに、同業他社及び他業態動向の情報として各企業の経営に役立てていただくことを目的に実施したものです。

■調査時点	令和4年12月
■調査地域	中空知管内(当金庫本支店所在地)
■調査方法	当金庫職員による面接聞き取り法
■調査企業	当金庫のお取引先企業

内訳	製造業	17社	建設業	38社
	卸売業	7社	運輸業	9社
	小売業	31社	不動産業	3社
	サービス業	17社	計	122社

※ただし各設問において未回答の企業があります。  
※各設問の%表示は、小数第二位を四捨五入しております。

### 調査結果から

#### ■日本の景気見通し「悪い」が70.5%

中空知管内企業が2023年の日本の景気をどのように見通しているか調査したところ、「悪い」と回答した企業は86社(70.5%)で最多回答となり、「普通」が23社(18.9%)、「良い」が11社(9.0%)となった。景気の見通しを「良い-悪い」でみると、1年前の調査(△43.6)に比べて17.9ポイント下降の△61.5と悪化した。景気の先行きに対しては慎重な見方が続いている。業種別では、運輸業で「良い」と回答した企業はなかった。

#### ■自社の業況見通し「悪い」が55.7%

2023年の自社の業況(景気)をどのように見通しているか調査したところ、「悪い」と回答した企業は68社(55.7%)で最多回答となり、「普通」が42社(34.4%)、「良い」が10社(8.2%)となった。景気の見通しを「良い-悪い」でみると、1年前の調査(△37.3)に比べて10.2ポイント下降の△47.5と悪化した。自社の業況についても日本の景気見通し同様慎重な見方となっている。業種別では、製造業・運輸業で「良い」と回答した企業はなかった。

#### ■自社の売上額見通し「減少」が45.9%

2023年の自社の売上額の見通しについて調査したところ、「減少」と回答した企業は56社(45.9%)で最多回答となり、「変わらない」が28社(23.0%)、「増加」が36社(29.5%)となった。売上額の見通しを「増加-減少」でみると、1年前の調査(△7.1)に比べて9.3ポイント下降の△16.4となった。業種別では、建設業で「減少する」との回答が50%以上となっている。

#### ■3年後までに自社の業況「上向く」が52.5%

自社の業況が上向く時期の見通しについて調査したところ、「すでに上向いている」との回答が9社(7.4%)と、1年前の調査(10.3%)に比べ2.9ポイント下降した。また、3年後までに「上向く」と回答した企業は64社(52.5%)となり、1年前の調査(68.3%)に比べ15.8ポイント下降した。一方で「改善見通しは立たない」と回答した企業は39社(32.0%)となった。これに業況が上向く次期の見通しを「3年超」と回答した企業を加えると50社(41.0%)となり、1年前の調査(26.2%)に比べ14.8ポイント上昇した。業種別では、製造業・卸売業で3年後までに「上向く」と回答した企業の割合が多く、小売業・建設業・運輸業では当面、業況改善は難しいと捉えている割合が多かった。

#### ■2023年の事業環境における経営リスクは「原材料・仕入価格のさらなる高騰」が79.5%

2023年の事業環境における経営リスクについて調査したところ、「原材料・仕入価格のさらなる高騰」と回答した企業は97社(79.5%)で最多回答となり、次いで「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」が76社(62.3%)となった。業種別では、運輸業・不動産業で「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」が最多回答となった。